Illustrated by Takashi Inui



東京集会実行委員会ニュース No.9 2016年6月発行

2016東京集会 《中部地方》 新潟県 3人 富山県 一

《中国地方》

島根県 1人鳥取県一 岡山県 21人 山口県 一 広島県 39 人

《九州·沖縄地方》

福岡県 20 人 佐賀県 2人 長崎県 一 熊本県 23人

大分県 2人 宮崎県 — 鹿児島県3人

沖縄県13人

《四国地方》

徳島県 1人 香川県 3人 愛媛県 16人 高知県 3人

福井県 9人 長野県 一 岐阜県 12人 静岡県 47人 愛知県 121 人

石川県 8人 山梨県 一

岩手県 5人 青森県 一 宮城県 53 人 秋田県 一 山形県 9人 福島県 9人

《北海道 • 東北地方》

北海道 47 人

《関東地方》

茨城県 6人 栃木県 54人 群馬県 42 人 千葉県 1 人 埼玉県122人神奈川県81人 東京都 348 人

三重県 25人 滋賀県 29人 京都府 94 人 大阪府 138 人 兵庫県 44人 奈良県 4人

和歌山県 —

《近畿地方》

東京 ▶▶▶

手と手を ぎゅっと バトンタッチ



~もう一度、 手と手をぎゅっとつなぎあおう~

第55回 東京集会



田中浩司 (副実行委員長)

東京集会は、6月3日~5日の開催期間を通 して1458名にご参加いただき、無事終えること ができました。当日ご参加いただいた方、また、 遠くから応援して下さった皆様に、心から感謝 申し上げます。

請求書、チケットの発行、宿泊の手配で多数 の不備がありました。ホテルの予約が出来てお らず、当日急遽、別のホテルに移動して頂かな くてはならなかった方もおられると聞いていま す。ご迷惑をおかけした皆様には、心からお詫 びを申し上げます。

集会中、皆さん何度も目に、耳にされた集会 テーマ、「もう一度、手と手をぎゅっとつなぎあ おう」。このシンプルなフレーズに、私たちはい くつかのねがいを込めていました。

ひとつは、全国の保問研の仲間とつながりあ うこと。これは、直前に、そして今も起こって いる能本地震そして東日本大震災といった困難 に直面している仲間と手をつなぐこと。たった 3日間の集会で伝えられることはほんの少しか もしれないけれど、遠くにいる仲間のことを思 う時間にしたい。そういう思いで集会にのぞみ ました。当日は、熊本・大分からも沢山の方が 出席してくださり、私たちが逆に元気をもらっ てしまいました。

もうひとつ、それは保問研の枠を超え、保育、 そして幼児教育にたずさわる仲間とつながりあ うこと。特別講座では、これまで接点をもつこ とがなかった、お茶の水女子大学附属幼稚園、 自梅幼稚園の先生方をお招きすることが出来ま した。また、東京独自の保育システムである、 認証保育所にも広く参加を呼びかけました。そ こには、この厳しい保育情勢を乗り切り、また 跳ね返すためには、より広く手をつながなくて はならないという、私たちの思いがありました。 まだ実数は出ていませんが、本集会は通常より も保問研以外の参加者が多く見られたようです。

そして最後に、集会を通して、私たち東京保 問研の仲間がつながりあうこと。次につながる 集会になるか、あるいは疲れ切ってバラバラに なるか。その結果はまだ出ていませんが、集会 中に見た仲間たちの笑顔の中に、そして集会が 終わった後の涙の中に、これからの可能性を感 じています。この文章を書き終わると、本当に 終わってしまうのかと思うと、なんとも名残惜 しい。私にとっては、そんな大切な集会になり ました。

さて、来年は愛知で集会が開催されます。素 敵なブログも出来ているようす。すでに現地実 行委員会の様子が報告されています。「せーので 一歩」を踏み出そうとしていらっしゃる皆さん を応援しています!では、また、来年お会いし ましょう!!

第 55 回(2016 年)全国保育問題研究集会 東京集会実行委員会 〒113-0033 文京区本郷 5-30-20 サンライス 本郷 7F TEL 03-3818-8026 FAX 03-3818-8026

